

1 日常の学習状況・課題について

- (1) 授業への取り組み状況は概ね良好である。「先生の言葉は聞き取れている」、「説明は分かりやすい」、「板書はわかりやすい」という項目に関しては、いずれも80%から90%となっていて、授業は分かりやすいと感じている生徒が多い。
- (2) 一方で授業のスピードについては、「はやい」「ややはやい」と感じている生徒が65%いる。
- (3) 授業で解く問題の量に関しては「多い」と感じている生徒と「少ない」と感じている生徒の割合がほぼ50%ずつである。生徒の主観によるところが大きい。
- (4) 宿題の取り組みに関しては80%程度の生徒が取り組んでいる。取り組めていない20%へのアプローチの仕方が課題である。
- (5) 「めあて」が学習に役立っていると感じている生徒が約70%いる。

2 改善の計画

(1) 学習面

- ①使える単語を増やしていくために授業ごとに小テストを実施する。
- ②特に英語を使って話すことに対する抵抗感が強い生徒が多いため、日々の授業でのペア活動や4人組活動などをさらに積極的に行っていく。
- ③既習事項が増える2学期以降、発表活動等のテストを行っていく。
- ④英文を書く練習が不足しているため、英文を書く活動を行う。

(2) 指導面

- ①50分授業の見通しをもたせるために授業の流れを提示することを継続する。同様に「めあて」の提示も継続していく。
- ②苦手意識が強い生徒が多いので、スピードが早くなりすぎているか生徒の様子を確認しながら授業をすることやわかりやすい板書をするのを心掛ける。
- ③洋楽やゲームなど、苦手意識が強い生徒でも英語に親しめるような工夫をしていく。
- ④授業ごとに宿題を確認する時間を取り、全員が提出できるようにこまめに確認、フォローをしていく。
- ⑤わからないことは自分から聞く等、主体的に学ぶ姿勢を評価し、聞きやすい雰囲気を作る。

3 プランの評価方法

- (1) 学期ごとに授業アンケートを実施し、変容を確認する。
- (2) 観点別学習状況評価を学期ごとに比較する。